

将来ビジョン及び必要な取組・事業

提案主体名	三井不動産株式会社、株式会社日立製作所、清水建設株式会社、スマートシティ企画株式会社	※複数主体の連名の場合は「、」で区切って記入してください。
提案プロジェクト名	知能型自律分散協調系柏の葉モデル都市の創造	※同一主体で複数の提案をする際は別名称としてください。
対象地域	都道府県名 千葉県	※複数の都道府県にわたる場合は「、」で区切って記入してください。
	市町村名 柏市	※複数の市町村にわたる場合は「、」で区切って記入してください。 ※特定の地区を想定している場合は、それも合わせて記入してください。
① 関連する分野	環境（低炭素化） 超高齢化（ホスピタリティ、医療、介護、セキュリティ） 防災（ライフラインの自律化） その他（ITエリアマネジメント、標準構築、国内外への展開）	※国際連携・国際化に関する事項は、分野ではないため、「その他」欄に記載しないでください。
② 将来ビジョン（環境価値、社会的価値、経済的価値の創造に関する総合的な目標（2050年を見据えた上での2020年、2030年の姿））		※本欄には1000文字以内の要約を記載願います。詳細資料は参考資料(様式自由)として添付してください。
<p>全体ビジョン：地域住民の安心安全を含むQOLを向上させ、住民一人一人の「well-being」実現に向けて、パーソナルコンシェルジュのようにきめ細かい多様なサービスを提供可能な社会システムを構築する。また、他地域の特性やスケールに応用し易い柔軟性と拡張性を兼ね備えたクラスターモデルを構築し、まず柏の葉キャンパスからつくばエクスプレス沿線に拡げ、鉄道沿線での拡張モデルも形成していく。</p> <p>全体ビジョンの達成度合いについて、環境価値、社会的価値、経済的価値に対する評価項目を設定し、各取組・事業の効果を踏まえながら指標を構築（「3. 都市づくりの標準構築」）していく。また、IT（「7. エリアマネジメントのプラットフォーム構築」）により、モニタリング、評価、改善を行い、効率的に進める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・環境価値の項目：省エネルギー・省CO2/省資源、資源循環/生態系循環 ・社会的価値の項目：健康・介護/安全・安心/QOL/エイジフリー ・経済的価値の項目：ナレッジエコノミー/高度情報集積/安定的な雇用・所得/都市活動の持続/観光資源の創出 		
③ 将来ビジョン（②に記載した目標の実現のための取組の基本的な考え方）		※本欄には1000文字以内の要約を記載願います。詳細資料は参考資料(様式自由)として添付してください。
<p>柏の葉国際キャンパスタウンは、つくばエクスプレスにより都心と30分で結ばれながらも、緑豊かな環境に建設されている新たな街である。この地区には、東京大学、千葉大学、東京理科大学、国立がんセンター東病院といった我が国有数の知的拠点が集積していることが最大の特徴であり、各種インキュベーション施設との連携による新産業の創出も進んでいる。</p> <p>高齢化、温暖化、さらに東日本大震災に関する課題に直面しつつ、都市の持続可能性を高めることが不可欠である。こうした都市のモデルを確立する上で、知的拠点の集積等が進み、意識レベルの高い住民の集住が期待され、また家庭でのエネルギー見える化によるピークシフト・ピークカットの実証実績、オンデマンドバス、省エネなどの取り組みが先駆的に進められている柏の葉国際キャンパスタウンは、最適な条件を備えているといえる。また、小宮山宏氏（株三菱総合研究所理事長）の提唱のもと環境・食料・医療・教育などの国家的課題を解決するため、「先進モデル」を提示し、柏の葉キャンパスをフィールドとして実現していくことを目的に、一般社団法人フューチャーデザインセンター（FDC）が設立された。このFDCの第一弾として、「スマートシティプロジェクト」が開始され、世界企業15社により、QOL向上のために環境・エネルギー技術を統合したトータルソリューションの構築と国内外への展開を進めており、環境未来都市構想にマッチした取り組みを既に開始している。</p> <p>そこで、柏の葉の特徴である「住民を中心とした暮らしやすさ」に視点を置き、パーソナルコンシェルジュのような多様なサービスを、ポイント制のインセンティブを使った「1. 柏の葉ポイントによるソーシャルビジネスの加速」、「2. 柏市全域への見える化の拡大」、高齢者のホスピタリティや医療介護を提供する「6. 健康居住システムの構築」を通して進める。また、柔軟性と拡張性を兼ね備えたクラスターモデル構築のため、災害時も自律可能となる「4. コミュニティ拠点の最適設置による自律都市モデルの実証」、再生可能エネルギーなどを電源とした発電事業を目指す「5. 柏の葉街区発電事業」を進める。更に、都市指標は「3. 都市づくりの標準構築」を進めて世界展開の際のベースとする。以上の特徴をもつモデル都市について、部分最適でなく全体最適化するため、ITによる情報収集・管理・分析を回す「7. エリアマネジメントのプラットフォーム構築」を図り、新しい事業者が街を運営するビジネスモデルを検証する。この都市モデルを、参加企業との共同マーケティング、製品・サービスをパッケージ化しながら「8. 国内・海外への事業展開」を目指す。</p>		

④ 将来ビジョンの実現のために5年以内に必要となる具体的な取組・事業(技術・システム、サービス、仕組み等)						
番号	取組・事業の名称 ※異なる名称を付けてください。	取組・事業の概要 ※500文字以内の要約を記載願います。詳細資料は参考資料(様式自由)として添付してください。	取組・事業の期間	実施主体・運営主体 ※複数主体の連名の場合は「、」で区切って記入するとともに、それぞれの役割を()内に記入してください。	価値、分野の種類	国の支援の必要性 ※必要性がある場合、「○」を記入してください。
(1)	「1. 柏の葉ポイントによるソーシャルビジネスの加速」					
(2)	「2. 柏市全域への見える化の拡大」					
(3)	「3. 都市づくりの標準構築」					
(4)	「4. コミュニティ拠点の最適設置による自律都市モデルの実証」					
(5)	「5. 柏の葉街区発電事業」					
(6)	「6. 健康居住システムの構築」					
(7)	「7. エリアマネジメントのプラットフォーム構築」					
(8)	「8. 国内・海外への事業展開」					
(8)						
(9)						
(10)						
⑤ ④に記載した技術・システム等をインテグレートして実現するイノベーションの内容						
※本欄には1000文字以内の要約を記載願います。詳細資料は参考資料(様式自由)として添付してください。						